

**平成26年度 第1回 東京都地方独立行政法人評価委員会
高齢者医療・研究分科会議事概要**

1 日 時

平成26年7月17日（木曜日） 午後2時59分から午後4時23分まで

2 場 所

東京都庁第一本庁舎33階北側 特別会議室N2

3 出席委員

高久分科会長、猪口委員、河原委員、南委員（分科会長を除き、五十音順）

4 実績報告

地方独立行政法人健康長寿医療センター平成25年度業務実績報告について

5 審議事項

- (1) 平成25年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの業務実績評価（案）について
- (2) 平成25年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの財務諸表等に関する意見聴取について

6 その他

平成26年度の評価委員会開催スケジュールについて

7 議事概要

開会

○高齢社会対策部施設調整担当部長より挨拶

- (1) 平成25年度業務実績報告について

○東京都健康長寿医療センターより平成25年度業務実績について報告（資料1）

【平成25年度業務実績報告について質疑応答】

- t-P Aを受けるまでの平均時間はどのくらいか。

（健康長寿医療センター回答）

→1時間半程である。

- アルツハイマー型認知症の診断にPETは使用しているか。

（健康長寿医療センター回答）

→使用しているが、保険適用ではないため、研究目的である。新病院でFDG-PETを導入しており、腫瘍や炎症性血管炎を鮮明に撮影することがわかってきたため、今後臨床試験を実施していきたい。

- J-ADNIに入っているのか。

（健康長寿医療センター回答）

→入っている。アミロイドメーキング研究のチーフを務めている。

- 在宅医療連携病床の病床数はどのくらいか。
（健康長寿医療センター回答）
→10床である。
- 現在は7対1の看護体制で運営されているが、今後の病床の届出についての方針はあるのか。
（健康長寿医療センター回答）
→良質な医療の提供のためにも今後も7対1看護体制を継続したいと考えている。ただし、経営面を考えると、新規の入院患者の確保とそのため地域の連携体制の強化をどのように行うかが課題である。
- 7対1入院基本料の取得の要件である在宅復帰率75%の確保について、戦略はあるのか。
（健康長寿医療センター回答）
→在宅復帰として認められる回復期リハビリ病床への転院を支援するシステムを作ることと、退院患者を在宅に戻すシステムを作る。この2本立てで取り組まなければならないと考えている。

- (2) 平成25年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの業務実績評価（案）について
○事務局より平成25年度業務実績評価（案）について説明（資料2, 3）

【平成25年度業務実績評価書について質疑応答】

- 倫理委員会の設置があるが、利益相反委員会は設置されているのか。
（事務局回答）
→確認して、次回分科会で回答する。

- (3) 平成25年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの財務諸表等に関する意見聴取について

○事務局より平成25年度財務諸表について説明（資料4, 5）

【平成25年度財務諸表等について質疑応答】

- 行政サービス実施コストとはどのようなものか。
（事務局回答）
→次回分科会で詳しく説明する。。
- 行政サービス実施コスト中の機会費用の考え方はどのようなものか。
（事務局回答）
→次回分科会で詳しく説明する。

- (4) その他

○事務局より、今後の評価委員会及び分科会の開催スケジュールについて説明（資料6）